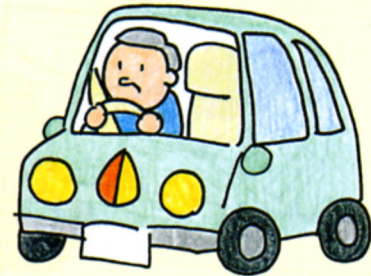


多い！高齢者の交通事故

～知っているのと知らないのでは大違い～

☆高齢者の長所

- 交通安全に対する意識が高い
- 運転はほとんどの方がベテランである
- 車間距離を多く取る



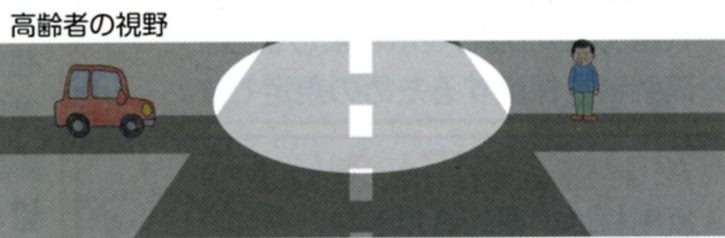
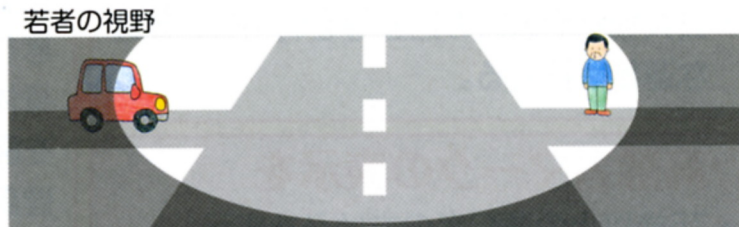
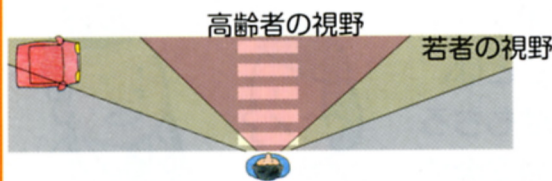
(高齢者マーク)

何故事故が多いの？

原因の一つに身体機能の低下が……。

視力

加齢とともにだんだんと視野が狭くなっていきますが、このことに気がついていない方が……。



「急にものが出てきた！」と感じたら、既に視野は狭くなっていることが考えられます。

図は視野のイメージです

☆対策

視野が狭くなっていることを認識して、目だけでなく体全体で確認することが大切です。

聴力

車の発見が遅れたり救急車の音が聞こえない場合がある。

☆対策

- 補聴器を利用する。
- ラジオ等の音を小さめにする。



感覚

- 距離感覚や判断がにぶってくる。
車の速度にかかわらず、対向車との距離のみで判断する傾向がある。



- 平衡感覚が衰えてくる。
自転車や原付の足つきが多くなり、ハンドル操作が不安定となる傾向がある。

☆対策

- ・なるべく通行しやすい安全な道路を利用する。
- ・公共機関や家族の送迎等を利用し、無理な運転は控える。

☆高齢者マークの表示を

- ・75歳以上の運転者の方は必ず表示。
 - ・70歳以上の方も表示しましょう。
- ※高齢者を保護するための規定です。

☆反射材を着用しましょう

- ・反射材は、運転者があなたを発見しやすくするための道具です。

体力

- 筋力が落ちるなど、歩行中、足元が気になり、下を向きがちになる。



- 瞬発力が衰えふらつきやすく、歩行が不安定となりやすい。

☆対策

身体機能については、訓練によりかなりの程度まで、向上させることが可能であると言われています。

身体機能の向上を図ることは、健康にはもちろん、交通安全にも効果的です。定期的に、健康診断を受け健康管理に努めましょう。



- 常に余裕をもって運転するよう心がけましょう。
- 高齢者の特性を理解し、高齢者の交通安全に努めましょう。

高齢者の主な事故のパターン

危険な状態でも、横断を始める



交差点で停止・安全確認ができていない



慣れや思い込みによる運転



※加齢とともに聴力、視力、疲労回復力、薄明反応、分析と判断力、瞬発反応力は低下していくことを自覚して行動することが、自らの安全につながります。